

○単元の目標及び評価規準の設定

外国語科の場合、単元の目標を、次のように設定します。

(1)の「知識及び技能」及び(2)「思考力、判断力、表現力等」の目標については、基本的に指導事項の文末を「～できる。」として示す。

(3)「学びに向かう力、人間性等」の目標については、いずれの単元においても外国語科の目標である聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら～しようとする。」の部分を示す。

単元の評価規準は、五つの領域別目標ごとに次のように設定します。

◆「知識・技能」のうち、「知識」は、「【言語材料】の特徴や決まりに関する事項を理解している。」が基本的な形となる。「技能」は、「【言語材料】などを活用して、【事柄・話題】について～してる。」が基本的な形となる。

◆「思考・判断・表現」は、「【目的等】に応じて、【事柄・話題】について～している」が基本的な形となる。

◆「主体的に学習に取り組む態度」は、「【目的等】に応じて、【事柄・話題】について～しようとしている。」が基本的な形となる。

子供たちに求められる資質・能力を確実に育むためには、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進めていくことが重要です。そのため、単元を通してどのような子供たちの姿を目指していくのかを明確にイメージし、単元を構想しましょう。

中学校第2学年 外国語科 学習構想案

1 単元構想

単元名	Unit 2 A Trip to the U.K. (New Horizon 2 P.18～)		
単元の目標	(1) be going to+動詞, show+A+B, call+ A+B などを用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを、伝え合うことができる。【知識及び技能】 (2) 週末や夏休みの予定などをALTに伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合うことができる。【思考力、判断力、表現力等】 (3) 相手に配慮しながら、英語を用いて週末や夏休みの予定などについて伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「話すこと【やり取り】」(イ) ・be going to+動詞, show+A+B, call+ A+B を用いた文の構造を理解している。 ・週末や夏休みの予定などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、be going to+動詞, show+A+B, call+ A+B などの簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	「話すこと【やり取り】」(イ) ・ALTに自分の予定を伝えるために、週末や夏休みの予定などを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	「話すこと【やり取り】」(イ) ・ALTに自分の予定を伝えるために、週末や夏休みの予定などを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

★「単元終了時の生徒の姿」のポイント

- 目標や評価規準を要約し、具体的なコミュニケーションの目的や場面、状況に応じた望ましい生徒の姿となっていますか
(文末は「～している(しようとしている)子供(生徒)」)
- 子供たちと共有できる表現になっていますか

実際に他者とコミュニケーションを図る場面で学習したことを生かそうとする姿を想定して、書き表した例

- ㊦「お互いのことをよく知るために」に、コミュニケーションの目的を示しています。
- ㊧「～について」に、コミュニケーションの事柄・話題を示しています。
- ㊨「～伝え合っている生徒」に、実際のコミュニケーションの場面でどのように活動したり考えたりしているかを示しています。

★「本単元で働かせる見方・考え方」のポイント

- 単元を通じた学習課題を解決するための見方・考え方となっていますか
- 見方・考え方を働かせると深い学びになりますか

単元を通じた学習課題を踏まえて、どのような視点で物事を捉えて(見方)、どのような考え方で思考していくか(考え方)を想定して、書き表した例

- ㊩「～に配慮しながら」に、教科等の特質に応じた見方に関する内容を示しています。(※外国語の場合は、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉えること)
- ㊪「～すること」に当たる文言に、教科等の特質に応じた考え方に関する内容を示しています。(※外国語の場合は、コミュニケーションの目的・場面、状況等に応じて、考えなどを形成、再構築すること)

★「単元を通じた学習課題」のポイント

子供たちが単元を通して興味・関心をもって深く考えることができる学習課題ですか

見方・考え方を働かせて課題解決を図ることができるものですか

子供たちと共有できる表現ですか

単元のゴールの姿に迫るものですか

夏休みの予定について伝え合うという課題に取り組むことを通して、他者によりよく伝えられるようになることをねらって、書き表した例。

- ㊫「～ために」に、言語活動の目的を示しています。
- ㊬「～しよう」に、学習内容や指導事項を示しています。

㊦ 単元終了時の生徒の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)

お互いのことをよく知るために、週末や夏休みの予定などについて、相手に配慮しながら、予定や事実、自分の考えなどを整理し伝えたり、相手からの質問に答えたりして伝え合っている生徒。㊧

㊩ 単元を通じた学習課題 (単元の中心的な学習課題)

「日本の中学生の夏休み」をよく知ってもらうために、ALTの先生と「夏休みの予定」について伝え合おう。㊪

㊫ 本単元で働かせる見方・考え方

ALTの背景にある文化や、興味・関心に配慮しながら、夏休みの予定などについて、内容や表現を工夫すること。㊬

指導計画と評価計画 (10時間取扱い 本時8/10)

過程	時間	学習活動(「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に於て評価の場面で「具体的評価規準」を記載
ー	1	○単元の目標を理解し、自己目標を設定する。 ○主人公の予定を読み取り、説明する。 ○週末などの予定を伝え合い、相手か	【知】【思】 (ワークシート・行動観察)